

## 令和元年度第1回中頓別町総合教育会議議事録

◎開催日時 令和元年9月30日(月)15時30～16時30分

◎開催場所 中頓別町役場会議室

◎出席者 田邊教育長、小倉弘委員、宗像育美委員

小林町長

事務局～工藤教育次長、小林主幹、小林総務課長、白井主事(書記)

### 1. 開会

令和元年度第一回中頓別町総合教育会議を教育委員会議に引き続き、お疲れのところ進めさせていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

### 2. 町長挨拶

教育委員会議の終わった後に大変お疲れだと思ひますけれども、年に1回ほどしかこの会議を開催しておりませんが、教育委員会の取り組みを私としても全面的に力になっていきたいと思ひておりますので、是非、実りある話し合いになるようにお願ひ申し上げたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

### 3. 議事

#### 【会議録署名委員の指名】

議事に入る前に、署名委員さんを指名してよろしいでしょうか。本日は委員さん2名のご出席ということで、小倉さんと宗像さんの2名でよろしいでしょうか。～承認を受ける。

○小倉弘委員

○宗像育美委員

#### (1) 町長と教育委員会委員の意見交換

##### 【教育長】

教育委員会として大きく働き方改革にかかわって、校務支援システムを小学校中学校に導入したいと考えています。大体200万円程度。1校で200万ではなく2校で200万円程度の予算を組んでいるところですが、この中には客観的に勤務時間を把握するシステムが入っています。それを使って、何時にきて何時に帰るといふ時間を把握したいと思ひます。把握はするのですが、その後の指導等については別の課題となると思ひます。これは校務支援システムにより自動的に出勤時間を把握するシステムの導入を行っていききたいといふことです。勤務時間外の電話対応については、留守番電話の設置をしたいと思ひます。留守番電話機能のみで、転送するといふことまでは考えて

おりません。何時から留守番電話対応とするのか、役場は5時15分になると留守番電話になりますが、学校は16時45分になったら留守番電話にすると、ちょっと厄介なことになると思います。この時間の設定について道立の通知文書を見ると「いつから使うかは各学校の判断と致します」ということですので、現在、教育委員会で検討しているのは、早くて18時以降。勤務時間の上限ということで18時45分までには全員帰るよりにということ働き方改革アクションプランの中で謳っているのです、その時間を目安に切り替えてもらいたいと思います。ただこれは営業所の業務案内のように「ただいま先生方はいませんので、連絡がありましたら明日の勤務時間にお願いします」というものです。「なお、急ぎの場合は緊急の連絡先にお願いします」というアナウンスが流れる。これは教頭の携帯電話になりますが、あらかじめ周知してありますので、留守番電話の中にはそこまでは入れない。道立の通知文と同じような対応になっています。いずれにしてもこれは、道立の勤務時間を把握するシステムと同じような形で導入したいと考えています。

続いて、町民センターですけど、トイレの洋式化というかウォシュレットにしたいと思います。2階と1階にありますけれども使い勝手もよろしくないのです。洋式トイレの設置状況はどうでしたか。

※ 教育次長～1階のホールの奥の方が洋式になっていて、それと和室側のトイレ及び多目的トイレは洋式になっております。

町民センターのトイレを快適にしたいと思います。

RSTテストというのは、基礎的読解力を調査するリーディングスキルテスト。読解力調査のテストです。これは簡単に言えば、私が算数教室で子供たちにやっているようなテストです。読んでどこまで読解力があるか。これを中学校の全学年と、小学校を対象とするなら6年生にやりたいと思っています。これはパソコンを使ってテストをします。先生方の苦労というのはないので。瞬時に出てきます。愕然とするのですよね。やると。できなくて。自分がそうでした。要するにそれだけ読んでいないということですね。これは新井紀子さんという算数の学者がいるのですが、私が岩見沢東にいた時に、その方に来て頂き講演をしてもらったのです。その講演する条件として「RSTテストをやってもらいたい」ということだったのです。多少自信はあったのですが、がっかりしました。そんなこともありまして、今年、全国の教育長の研修会があり、再び、その方の講演がありました。本も購入し町長もご覧になったと思いますけど、あのような問題でございまして、パッと見ると何でもないことなのですけど、その通り読み取っていないということが分かります。それをやることによって「何ができるの」というと、教科書を正確に読めるようになるのだそうです。教科書を正確に読めない高校生がい

て、北海道には多いつて言われた時には頭にきましたけど、あまり否定のできないこともあると思わされました。これをやると本を読むというか読解力、読み取る力が目覚めるというか自覚するというのがあるのではないかなと思っており、これはやってみたいと思います。お金はそんなにかからないのでできると思います。

学校配置については、現在滞っていますけれども、基本構想、基本計画、建築基本設計等これは早急にやりたいと思っています。

継続事業としては、ハワイの語学研修、夢と希望感動体験事業。今年は開拓110年・町制施行70周年の記念の年でもあり記念事業として実施した事業のうち、来年度も継続して、野球、バスケットについては、コンサドールは子供の希望者がいなかったというのがありますが、2種目程度は継続していきたいと思っています。中頓別文化塾は、10月の来週の日曜日にもありますが、今ひとつ入りが悪くて、落語の時にも25名くらいでちょっと残念でした。この次も15名くらいかなと思いますが、これは継続することに意味があると思っていますので継続していきたいと思います。自薦で「講師をやらせて頂きたい」という人も来ているので検討したいと思っています。

それから、教員の道外視察研修ですが、これは外国語活動について小学校、中学校の先生でもいいのですが、宮城県の小学校、中学校の英語の授業をぜひ見学してきてもらいたいと思います。昨年、ダリン先生と行ってきており、小学校で3時間授業の見学をしましたが驚きました。それが自分の外国語活動に対する考え方の分岐点になりました。町長から紹介を受けてセヶ浜町立亦楽小学校へ行ったのですが晴らしいものでした。それは、担任の先生がかかわっているということです。ALTが授業を行っていて、それが当たり前なのです。どこにどれだけ担任がかかわっているかというのが気になったところですが、その辺のかかわりを自分の目で見てきてほしいと思います。先生の数はそう多くないので、3年から4年継続すると殆ど全ての先生が研修を受けることが出来ます。それで意識改革ができ、自分たちも同じような授業を行って頂けるとしたら、子供たちの英語力はさらにアップすると考えております。

議題には上げておりませんでした。ICTに関して。タブレット端末を枝幸高校は全員に配布するというポスターを見て、ただ与えればいいというものではないと思っています。やはり与えることによってインパクトはあると思っています。ただそれで与えたいのだけでも、その環境が十分に整っていない。それは小学校、中学校ともに言えると思う。その時にかかわるのがこの4番目の学校の配置 基本構想・基本計画、建築基本設計の中で、当然その環境を整備しようと思っています。今、中学校にそれを整備

するという事は、この構想により二度手間になってしまう。だから構想の実施の段階で整理したほうが金銭的にはいいのですが、まずタブレットを与えて、やれるところからやるのが良いと思っています。沢口校長は来た時から言っていました。だから、自分が先ほども言いましたが、タブレット端末を与えたからといって「教員の方はそれを使いこなせるのか」と。子供たちのほうがすぐ覚えてしまうのではないか。それでは本末転倒だったということが払しょくされていない。来年からプログラミング教育というのが行われており、小学校は沢口校長自ら授業を行ったりしています。それがイコールではないですけど、児童、生徒数はそれほど多くないので、タブレット端末の予算措置できるかなと思っています。それは来年度の自分の思いです。

学力学習状況の方では、英語について「聞くことと読むこと」は全国平均並みだったので、非常に嬉しく思いました。ただ、「書くこと」は70%なのでそこは考えなくてはならないところだと思います。やはり「中頓別は英語」、中頓別のこども達はこども園から英語をやっています。小学校で学んだものが中学校で活かされている。今後も「もっと頑張ってくれよ」というように子供たちの英語力を高めていきたいと考えています。そのためには、とにかく今やっている外国語活動の充実。5、6年生は教科英語になりましたけど、これを充実して、中学校に持って行ってもらいたいと思います。

○総務課長～ありがとうございます。それでは意見交換ということですので、今の内容等或いは違う部分でも結構ですので何かありましたら話をさせていただいて、町長のほうもざっくりばらんにお話しただけだと思いますので進めていただければと思います。先に町長の方から何かありますか。

○町長～僕も一つ一つ話をしていきたいと思いますが、今の話の中で、教育員のお二人から補足的にというか、それぞれ思うところがあれば聞いてからのほうがいいかなと思います。

○総務課長～先ほどの確認ですが、学校の配置の関係はWi-Fiの関係なのですか。Wi-Fiの環境を整えていきたいということでしょうか。

○教育長～Wi-Fiの環境を整えないと、タブレットを渡したとしても十分に機能しないのではと思っています。

○総務課長～そういうことですね。Wi-Fiの環境を整えていきたいということですね。

○教育長～中頓別の環境でネットはできますけれども、それとは異なる環境なので、その辺の知識は乏しいということもありますので。

○町長～小倉さん、どうですか。

○小倉委員～今の教育長の話で、ICTは結構僕もそういうのは好きなので、来年からのプログラミング教育がどのようになるか興味はあります。ただ、

特別その授業があるというわけではなく、数学だったり理科だったり図工で使ったりということでは聞いてはいるのですが、確かに「教員の先生たちが実際使えるのかな、説明できるのかな」というのが心配ではあります。今後学校が新しくなってきたら電子黒板が出てきたり、タブレット端末を使ってとか、実際に行っているところはもう既にあると思うので、将来的に「そうならいいな」とは思います。来年の4月から段階的に始まっていくと、たぶん生徒でも興味のある生徒が出てくるとは思うけど、ただそれを家でやりたいと思っても家庭によってパソコン使える家もあれば、全くない家庭というのもあったします。そういうのが、例えば今だと放課後子供プランで自由に使えるパソコンがあつたりする環境があると、子供たちも興味があつてやってみようとなるのではと思いました。学校でそろえるのは難しいかもしれないけど、今あるのでやるとしたら、プランでやるとか、中頓塾でプログラミング、パソコンやタブレットを使つたりするのはいいのかなと、そこから勉強にもつなげられ、英語教育にも使えたりするのかなと、もし今後の検討する機会があれば、そういうのがあればいいのかなと思います。よろしくお願ひいたします。

- 教育長～ご意見、ありがとうございました。放課後子供プランは、今すべて臨時の職員でまかなっている部分があり整備しなければならないところもありますが、ご意見は頂戴いたしたいと思います。
- 宗像委員～中頓別市街地内では関係ないかもしれませんが、中頓別市街は光が通っていてインターネットとかできるけど、上頓別はできないのです。家でWi-Fiに繋ぎパソコンも使つてはいるけども、容量があつて思うようにできない。下の子どもやりたいとなると、一杯一杯になってしまつて他のことができなくなってしまうという問題があるので、学校とかそういうところでタブレットを使つていろいろやってくれると楽しいだろうなとは思ふ。学習面にしても。旭川の塾とかでもタブレットを使つていて、それに触れる機会が、今年、長男にあつたのでとても興味を持つていたようでした。
- 町長～タブレットにかかるICTを活用した授業づくり、学校づくりの視点で二人から意見がありましたけど、僕は、ここはぜひ進めてほしい。進めた方が良く思つています。ダリン先生が英語の授業を行った時に活用してましたね。みんなの正解とか。もうすでにそうやって取り入れた授業なんかも先生たちが見ているわけだから、もっともっと積極的にやろうという方向は良いのではないかと思います。電子黒板とタブレットが標準にあるという環境で授業が展開されるというのは、学校が新しくなるというのに依存しないと思ひます。電子黒板も建て込みではなく、前に置く置き型のものもあります。導入は上層部から使えつていうと多分持て余すと思ふので、現場か

ら声をあげてもらって「どのようにやりたいのだ、使いたいのだ」ということで声を発してくれると、町もだんだんお金が厳しくなっていますが、最優先の事項として視野に入りたいと思います。

いまのに関連していくつか話が出たのですが、英語の強化、英語だけであれば良いというわけではないというのは十分に分かっていますし、こども園で言えば英語と自然体験とか、そういうことを柱に取り組んでいくことが他の力を引っ張り上げていくと思うので、そういう意味で大きな柱を一本持って教育に力をかけていくというのは意味があることではないかなと思います。

○宗像委員～上の子はダリン先生やハワイ語学研修に行って英語が大好きになって、英語だけではなく、他の語学についても勉強したいと言っているので本当にありがたいです。

○町長～これはぜひ継続して取り組んで行ければと思います。あと、放課後子供プランの話と関連して、学校と別建ての学校教育ではなくて、社会教育という位置付けになってくるのでしょうけど、ただそこはしっかり情報の共有とか子供たちのためにしていくことが大事だと思うし、そこを子供たちの力をつけていく場所として、もっと強化できれば良いと思います。確かにスタッフはみなさん臨時かもしれないですけど、かかわっている人たちは熱意とか思いを持ってかかわっているということは十分感じるので、そういう意味では、そういう気持ちをバックアップするということも教育委員会の役割として大事なのではと感じております。夢と希望感動体験も、もっともっといろいろな事業に取り組めたら良いのではないかなと思います。教育委員会や学校が主体となると大変ですよ。一つ一つの事業をこなしていくのは大変なので、いろいろな団体がもっともっと自分たちで積極的に活用していけるのだということを理解してもらって、そういうのがたくさんできてきたら良いのではないかなと思います。文化塾も有名な講師を呼んで人を集めるものと、健康づくり講座と一体化してしまって、こっちは健康づくり講座、こっちは文化塾ではなくて、連携がとれたら良いのではないかなと思います。生涯学習という視点になるのかなと思うのですが、地域の講師として名乗りを上げる人もいるというのであれば、そういう人たちも活用して、様々な活動に広がって展開していただければなと思います。継続事業のところを出た4点、ICT、タブレットの話を入れて5点についてはこんなところかなと思います。今の私の意見でさらにご意見がございましたら如何でしょうか。

○町長～特になければ、最初に話の出ている事項について話をしていきたいと思います。教員の働き方改革は、サポートできる場所は町としても対応するようにして行けるかなと思いますけど、先生たちの地域との関わり

とかそういう意識の改革にも今まではある意味忙しいということが理由にもなって、なかなか先生たちが地域に出てこない。子供たちのいない世帯からみると学校が全然見えない。先生たちも分からないというのがあるので、豊かな地域との繋がりを創造的に「働き方改革」から見出してくれたらより良いのではないかと思います。町民センターのトイレ改修については、今後、検討したいと思います。今は利活用がされていなくて、子供プランで使っているということがあるので、そこでのトイレの不快感があれば解消してあげたほうが良いかなと思いますけど、そのあとにある学校の配置、これから中学校の老朽化に対応して学校はどうするのかという問題がこの前も次長と打ち合わせをしています。どのように前に進めていくのかがポイントになるのではないかなと考えています。そこに、もし今の小学校のところに中学校が来るという考え方、その考え方を軸に調整しているとは思いますが、その考え方で全体の合意形成が進むのであれば、近くにある町民センターやこども館を一体にした学校教育、生涯学習との連携を図っていく必要があります。ソフトだけではなくハードとしてどのようにそれに応えられるのかということも含めて検討していく必要があります。町民センターの中の設備の改修について、先行してやるのであれば先行が良いですけど、将来構想が一体的にあるのが望ましいのではないかと思います。RSTの問題は、教育長から「読め」と言われて、新井先生の本を読んで、本当に今、子供たちの読解力の問題で、怖くなるくらいこんな状況だと大変なのだということ強く感じました。先ほども言ったように、英語や中頓別の中での教育の力の入れ方というのが、こういうテストの結果に跳ね返ってくると良いのにと感じています。AIがどこまで進むかということがあると思うんですけど、子供たちがすでに現役の世代で70歳くらいまで働かないといけない時代だし、働くということを考えても子供にしてみると小学生にして60年という先のことまでしっかり生き抜いていく力みたいなものが大事なのだと思います。ICTの進化というところに、スマホだって何割理解して活用できているのかなというのがあります。ラインペイを試してみましたが、店頭で苦しみました。スタバでカード作って決済しようと思っても、とまどってしまい店員さんに教えてもらいながらやっとできたという感じでした。そのような柔軟な対応力を作っていくというのは、子供の時の教育ということではすごく大事だと思います。今の状況を踏まえた対応をとっていくのが必要だと共感します。受けるほうは抵抗とかないのでしょうか？

○教育長～そこまで確認してないですが、とにかく一回はやってみてくれと言っています。その結果を見て愕然としてくれないかと感じています。これが

現実なのだぞと。教員のほうもやろうと思ったらやれるのですよ。じゃあ教育長もやってみてくれと言われれば、自分は好きなのでやりたいと思っています。そういうのを見て、自分が教えている言葉だとか指導方法とかを見直してくれれば子供たちのほうも逆に良くなってくる。相乗効果になって、読んで分かるということが全ての教科で言える。ぜひそれを実証してみたい。子供たちが高校に行って「中学時代にはここまで自分は読解力があったのだから、高校の教科書を見ても分かるよな」という形で読んでくれば。あれを読みこなせればかなりの力になると思うので、そういうのを期待している。できれば、是非そういう力をつけて中頓別に戻ってきてくれば一番良い。そのために「あのハワイがあるから今の自分があるのだ」という気持ちになってくれるのを勝手に思っています。そこは子供たちがどう思っているかは分からないですが。町長が先に言われた、先生方と地域との関わりのことについては、先ほどの教育委員会議の話の中でも言っていたのですが、先生に地域の行事にかかわってほしい。特に小学校の先生はなかなか地域に出てこない。この部分については自分の中では非常に不満に思っています。昨日も中学校の先生3人がパークゴルフに出てきてくれて、地域の人と一緒にパークゴルフをやっていました。「なんで小学校は出てこないのだ」と思うのは私だけかもしれないけれど、地域の町内会の人も「学校の先生は何で出ないのだろうか」と思っていると思います。そこは自分の教員時代を思い出して、何かきっかけがないと難しいのかなと。中学校のほうは出てくれる。これはなぜなのだろうと思うのだけれども。

- 宗像委員～旭台の町内会は出やすいですよ。お祭りとかでも先生方が出て来てくれています。
- 町長～6町内もやっていないわけではないけれども。
- 総務課長～6町内もだいぶお年寄りが増えてきており、年齢が合わない部分があるのかもしれませんがね。
- 教育長～中学校は子供たちと一緒に体を動かそうという機運はある。小学校は、先生は先生、子供は子供というのがあるような気がしています。先生方が出てきたら子供たちも喜んで「一緒にやるよ」となるのではないかと思います。
- 町長～地域のほうも先生方も参加したいと思えるような魅力のある活動があると違うのでしょうか。出てこいと言われたら、もうイヤイヤという形が一番最悪なのだろうと思います。間違いなく先生方はみんな若いから、地域の行事に参加してくれたら地域の人みんな喜びます。喜びの体験をすると違ってくるのではないかと思います。小学校の先生方の居住地も各町内会にばらけているのも要因かもしれませんね。



- 教育長～それにしても学校でチームを作って子供たちと一緒に体を動かすというのをしてほしいと思います。
- 町長～こども園に相座先生が園長として来てくれて2年目となり、こども園としての教育面というかそういうところを強化して小学校に入っていくまでにどんな準備をしていかなければならないのか、どういう力を備えて小学校に送り出したらいいいのかというのが出来ていて、各学校のつながり、こども園と小学校、小学校と中学校、そういう接続のところが改めて大事なのではと思います。残念ながら中頓別に高校はないですので、義務教育まで子供たちのために出来ることをめいっぱい取り組むというのが大事なかなと思います。先生たちもそのことを意識して、幼中小、地域とのつながりというところを自身も前向きな気持ちになれるように構築できるのが望ましいと思うのでよろしくお願ひしたいと思います。
- 教育長～相座園長のこども園でやっている体力づくりが、小学校で上手く活かされていない。ちょっと私が気になる発言があったのですが「なんでこども園がやっている取り組みを、もっと具現化して小学校で工夫してやっていこうとしないのか」それ以上にこども園はやっている。それを育てるのが小学校の役目だと思っているので、小学校、こども園の体力づくり、英語の二つでやっていただければと思う。ボール投げる、蹴るは普通にできると思うのですが、案外できない。小学校で「今の子供たちは体が硬いとか運動しない」とか言っているのだったら、それは間違っていると思うのですが、今度、体育の授業も見に行きますか。
- 町長～はい、行きます。
- 宗像委員～幼児期のそういう運動というのは、小学校も少年団がありますけれど、「中学校での部活動ではそういうのが役立つのだ」というのを長男がネット調べていました。幼児期の運動量が、「中学高校での運動に大事なかわりがあるのだ」と言っていました。今は森のこども園がありますが、「そういう経験が中学高校に役立つのだ」と言っていました。
- 小倉委員～女子プロゴルファーの横峯さくらさんのお父さんが保育園の園長をやっていて、そこはスポーツに特化していて、その時期が一番大事であり、放課後かな、学校終わったらそこでスポーツして、小学校上がる前までに跳び箱を10段、縄跳び1000回飛べるし、僕の幼稚園の時もやっていて、それがたぶん学力にも繋がってくると感じられます。
- 宗像委員～関係がありますよね。
- 教育長～体が動かせるということは、頭の方も発達しているということ。
- 宗像委員～子どもが自分でも言っていました、家の前を何キロも走っていて、私が牛舎から帰ったら一生懸命勉強していて、「勉強が進んだ。はか

- どった。スポーツは大事だね」と言っています。交互に勉強とスポーツということで、体力維持も兼ねていろいろやっています。
- 小倉委員～昔は外で遊ぶことも勉強であり、頭も使っていましたからね。
  - 宗像委員～自分たちで解決して家に帰ってというのが今はほとんどないと感じられる。
  - 町長～今年の鍾乳洞祭りの時に、鍾乳洞の裏手の沢のところに小さい子供たちがいて、川の中に入って、魚、昆虫とか採って遊んでいました。森のこども園の中であれば分かりますけど、子供たちしかいない中でわいわい騒いで汚れながらやっているっていうのを見て感動しました。今のこども園の取り組みがそんな風に広がっていったら良いなと思います。自然学校だってあるので、小学校だってもっともっと活用を考えてもらっても良いのかなと思います。
  - 宗像委員～子供が夏休み、小学校の時かな。富良野にキャンプに行ったのがすごく楽しかったようで「中学校もいけたらいいのに」と話していました。
  - 町長～幼少中一貫の教育の実現ということをぜひ頑張りましょう。
  - 総務課長～それでは意見交換についてはこの辺でよろしいでしょうか。それでは次の議事と致します。

## (2) 中頓別町教育大綱改正について

- 教育長～別紙の教育大綱(案)を見てください。非常にシンプルにしました。A4一枚という形にさせていただきました。全文読みますけど、「中頓別町は子ども・子育てを支援する教育(学校教育・家庭教育・社会教育)を大切にします。1 かしこく 創造性と確かな学力を育む教育を推進します。外国語教育の充実に努めます。全国水準の学力を目指します。2 やさしく 人権を尊重する教育と心豊かな人づくりを推進します。挨拶を交わし、ふるさと中頓別を愛する子どもたちを育てます。本物の芸術文化スポーツの感動を体験させます。3 たくましく 健やかな体を育成します。森のこども園を推進します。人と自然の中で心と体を鍛え、動かします。子どもは中頓別の宝であり、希望です。教育は未来への架け橋です。子どもたちや大人のために、中頓別町は全力を傾注して施策を進めます。令和元年9月 中頓別町長 小林生吉」こういった形で提案させていただきたいと思います。
- 総務課長～この大綱について何かご意見ございますか。
- 小倉委員～去年に比べたら非常にシンプルで分かりやすいと思います。
- 教育長～一部ストレートすぎるという学校長の意見があったので、そこは変えました。「全国水準の学力ということ、全国学力学習調査で全国平均以上を目指します」はストレートすぎるというご意見でした。教育も学校教育・

家庭教育、社会教育と3つの分野にしました。これに関してはどのような教育なのかということで3つ入れました。

- 総務課長～以上、ご提案ありましたけれどもよろしいということで、よろしいでしょうか。～承認を受ける。
- 教育長～ここに町長の名前が入っていますけれども任期中はこれでいきます。任期が変わってもこれでいきます。

### (3) その他

- 総務課長～それでは(3) その他ということで何かございますか。
- 総務課長～今日の教育委員会議で防犯カメラの話はしましたか。補助金ももしかしたらつくかもしれないので、今年度はやらないで来年度ということになるかもしれないけど、個所数が4箇所1セットで整備を検討しており、4箇所が良いのか8箇所が良いのか。今日回ってきた感じでは8箇所くらいほしいのかなという考え方のようでした。中学校については今後建築の関係でももしかしたら動くかもしれないということもあるので、今年度については小学校を中心に話を進めてもらって、そのあとは小学校、中学校と話をしてどこにつけるのかというのを検討し、来年度には付けていきたいと思っています。
- 教育長～自分の思いとしては、こども園、小学校、中学校の校庭等が見えるところに1箇所付けた方がよいと思います。学校は嫌がるかもしれませんが、あってもしかるべきなのではと思います。
- 総務課長～今回の防犯カメラは北電の子会社と連携しているので、基本的には電柱に設置するタイプという考え方です。教育施設についてはカメラを買って自分たちの方で管理するような考え方になります。防犯カメラは1台30万円くらいになるかと思いますが、学校につけるのであればモニターもしたいとかあると思いますので、その辺をご検討頂けたらと思います。
- 宗像委員～10年前くらいに中学校に不審者が出たのですよね。道路のところで。2回くらい遭遇しているのですよ。うちの娘と同級生二人と、同級生一人でいる時に一回ありました。自転車置き場のところですね。向かい側に教員住宅がありますけど、自転車置き場で隠れていました。あの時は結局誰か分かりませんでした。
- 総務課長～今後、防犯カメラの付ける位置についても協議していきたいと考えます。
- 総務課長～危険なブロック塀についても去年話題になりまして、一箇所については傾きがあり、ブロック塀を低くしてほしい旨を話しますと、すぐに低くしてくれております。もう一箇所についても所有者のほうで、プロ

ック塀の上部が破損していましたが、もう外して修繕が完了していました。通学路については、危険性が抑止できたかなと思っているところです。

- 町長～教育大綱をもっとアピールしたらどうですか。
- 教育長～アピールは……。これをもとに教育行政執行方針や長期計画に役立てていきたいと思います。かしこく、優しく、たくましくは続けていきます。
- 教育次長～教育長の席の後ろに教育大綱の以前のものが残っていて、それと入れ替えようかなと思っています。
- 総務課長～体育館に貼ってあるのは何でした。
- 教育次長～スポーツ関係ですかね。スポーツ推進宣言の町ですね。
- 町長～あの看板は撤去しましたか。
- 教育次長～看板はそのまま残っています。
- 町長～早急に整理した方が良いと思っています。
- 教育次長～寿の国道沿いにある看板で、ロータリークラブで付けて頂いたものです。修理は2～3万でできるかなと思っていたのですが、もともになっている骨組みに心配があります。
- 町長～あの宣言が全く生きていない。30年という一つの節目として、見直すなら見直して新しい宣言をすとか検討を要すると思います。「いきいきスポーツ推進のまち宣言」はどこにもでてこないでしょう。軽スポーツは結構やっている人たちはまだいるから、その精神までなくしているわけではないですけど、取り組みがそこに繋がっているということでやっている人はほぼいないと思います。

#### 4. 閉会

それではあと特になにもなければ閉会という形にさせていただきますがよろしいでしょうか。令和元年度第1回中頓別町総合教育会議を終了させていただきます。長い時間、ありがとうございました。

議事録署名委員 小倉 弘

議事録署名委員 宗像 育美